

## 情報工学部の新設に係る取組状況について（報告）

## 1. 文部科学省への手続

- R4. 10. 13 学部設置の認可又は届出の適否に係る「事前相談」
- R4. 12. 20 (文科省より) 届出可の伝達
- R5. 4. 26 学部設置の「届出」
- R5. 6. 22 (文科省より) 届出受理の伝達

## 2. 学内での検討

- R4. 5. 27 ・県に「富山県立大学におけるデータサイエンス人材育成に係る有識者会議（以下「有識者会議」という。）」を設置…学長も委員として出席
- R4. 6. 21 ・学内に「新学部検討委員会」を設置（～R4. 9 までに計 6 回開催）  
入学定員、教育課程、教員組織、入試、施設整備等について検討開始
- R4. 8. 23 ・有識者会議が県に意見書を提出  
・できるだけ早期に数理・データサイエンスの専門教育を行う新たな学部を設けること  
・新学部は、数理・データサイエンスと関連深い分野の工学部の学科（情報系・AI系）を再編し、新たに『情報』を軸とする一体的な教育組織とすること
- R4. 9. 27 ・理事会及び経営審議会において、R6 年度の新学部設置について審議・了承
- R4. 10. 1 ・事務局経営企画課内に「新学部設置準備班」を設置  
・学内に「新学部設置準備委員会」を設置（「新学部検討委員会は廃止」）  
（現在までに計 11 回開催）  
3 ポリシー、教育課程、入試、学生募集、施設整備等について検討
- R4. 10. 26 ・新学部設置に係る知事・学長合同記者会見において学部・学科名称、設置時期、募集定員、教育の特色等について公表
- R5. 1～2 ・新学部の PR 及びニーズ調査を県内高校 18 校及び企業 502 社へ実施
- R5. 4. 1 ・新学部開設に向け詳細を検討する「教務関係作業部会」及び「入試・学生募集関係作業部会」を設置（それぞれ現在までに計 4 回、計 2 回開催）

## 3. 教員確保

## 情報工学部教員公募状況

(名)

学科名	教員定数	R6. 3 末 現員数見込 (うち R5. 4 新採)	R5 年度 募集数	(参考) 設置基準の 必要教員数
データサイエンス学科	14	9	5	8
情報システム工学科	18	15 (6)	3	8
知能ロボット工学科	21	16 (2)	5	8
計	53	40 (8)	13	24

#### 4. 学生募集

##### (1) 広報媒体によるPR

情報工学部に特化した、ポスターやパンフレット、特設WEBサイトを作成。また、WEB広告動画を各種SNSに掲出し、特設サイトへ誘導

情報工学部特設サイト



Web広告動画



##### (2) 受験メディアを活用したPR

受験産業が発行する各種情報誌や情報サイト、模擬試験や通信教育と連動したメディア等、多様な媒体を活用した広報活動を行い、多くの受験生等との接触機会の創出

##### (3) 工学部、看護学部と連携したPR

既存学部と連携し、駅構内や電車内、新聞紙面に広告を掲載。さらに、学長及び本学教員、並びに高校教員OBの学生募集担当等による県内高校へのきめ細かな訪問活動を実施

#### 5. 新校舎の整備

##### (1) 鉄骨造4階建て 延床面積 3,878.54㎡

4F	教授会室、学科会議室、教員室、研究室
3F	教員室、研究室
2F	データサイエンス演習室、学科事務室・資料室、教員室、研究室
1F	講義室、学生実験室、グリーンAI教育研究拠点(GXAIC)

##### (2) 建設工事費 約 31.3 億円

国「大学・高専機能強化支援事業※」により本学に交付される助成金（総額 20.28 億円）及び県補助金（R5.11月補正予算で約 12.2 億円の継続費（R5～7、工事監理費を含む）を設定）を活用

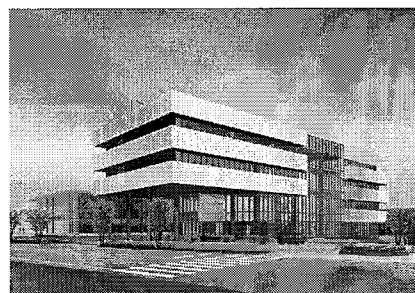
※学部再編等によるデジタル・グリーン等の特定成長分野への転換等を支援するため、国が今年度創設

##### (3) 今後のスケジュール

R5年度 建設工事着工(3月～)

R8年度 新校舎の供用開始

※情報工学部開設(R6.4)～R8.3は、仮設校舎で対応



新校舎パース図